

芸術祭交響樂公演

主催 文部省芸術祭執行委員会
協賛 日本放送協会・毎日新聞社

芸術祭交響樂公演

主催 文部省芸術祭執行委員会
協賛 日本放送協会・毎日新聞社

第10回文部省芸術祭交響楽公演

演奏 東京フィルハーモニー交響楽団

指揮 高田 信一

ビオラ独奏 河野 俊達

曲 目

Ⅰ. オーケストラのための組曲……………川崎 優作曲

オーヴァチュア

アレグロ

インテルメッツォ

フィナーレ

Ⅱ. ビオラ協奏曲……………端山 貢明作曲

Ⅲ. 交響曲ニ調……………石井 五郎作曲

アレグロ

アンダンテ

モルトアレグロ アニマート

昭和30年12月15日(木)午後2時 共立講堂

演奏中の御入場は御遠慮下さい

2. ビオラ協奏曲……………端山貢明

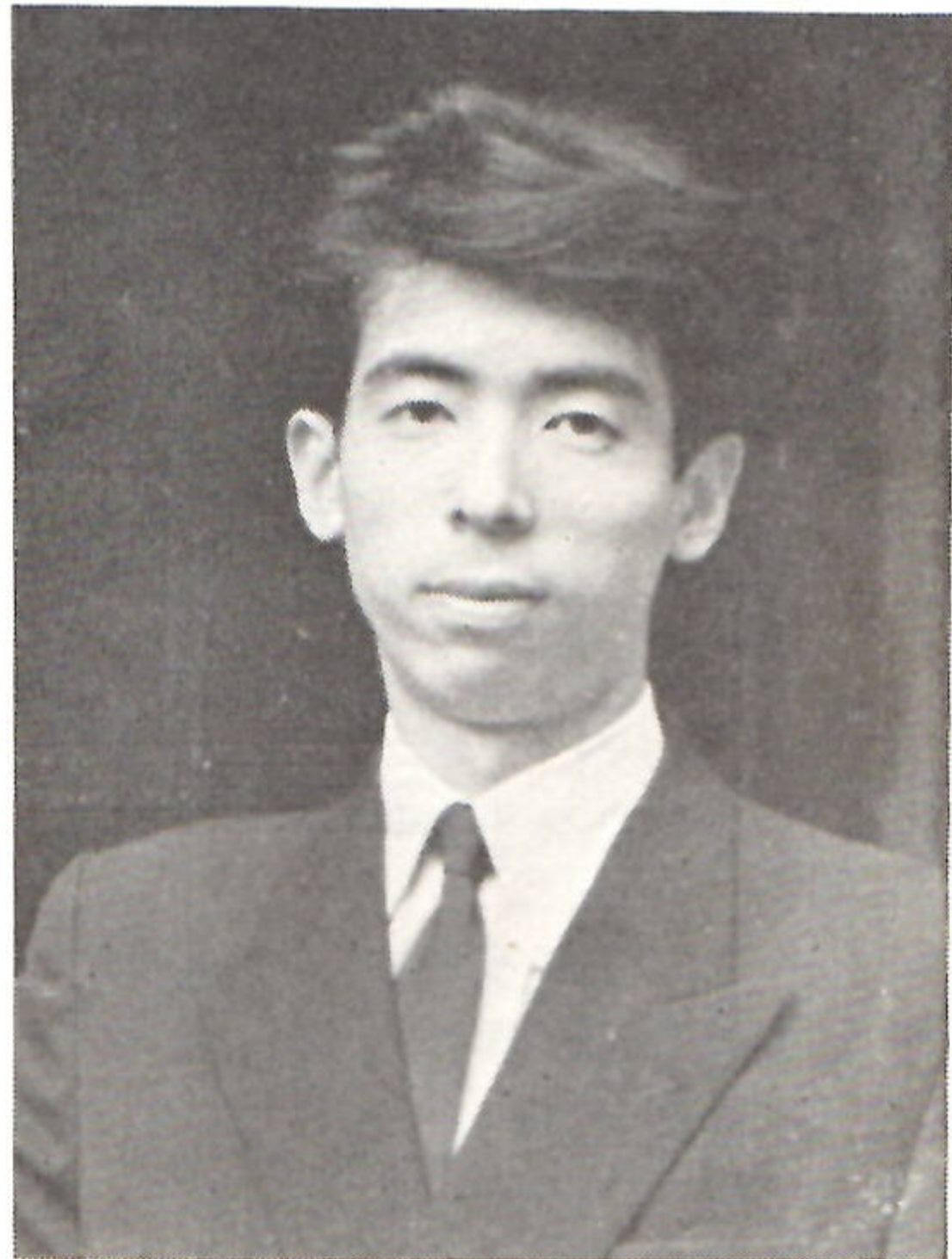
作曲者の言葉

例えば何の為にとか誰々の為にとか云う特殊な意図はこの曲への動機とはなりません。二カ月近い期間を創作へ向寄せたものは或る力（譬えば物が崩れる時起る様な）への趣好であつたのだと思います。そのため緊張感、迫力の点からヴァイオラを決定的に選びました。管絃楽の部分ではピアノにあるような、又ピアノでは現し得ない様な打楽器性を抽出することを試みました。私としては初めての大きな、又相当に実験的なこの曲が演奏されるのは大変嬉しい事で演奏の成果が齎す物を期待して居ます。

略歴 昭和七年四月二十八日生。昭和二十七年四月芸術大学入学。現在作曲科に在学中。

〔解説〕

この曲はロンド・ソナタ形式を基調とし其の意義を拡大し乍ら書いて行きました。例えば主要、主題の再帰等は必ずて異なる方法によりました。全曲は一楽章で、序奏・カデンツァ・A・B・A' 展開部・C・A''・B' A'''・展開部・A''''・コードの各部分により構成しましたが、劃然とした区切から三楽章のように聴いても差支えありません。序奏に於ては二つの重要な素材を前半は主にリズム、音程関係主要旋律となる音の並び方〔Ⅰ〕及びこの曲を支配する打楽器を後半では全曲に分散して継ぐものとなる〔Ⅱ〕を不安定に接触する旋律線と共に提示し副次的なⅢはⅡの対旋律として置きました。管絃楽のみによる序奏の後型通りカデンツァが続きロンドのA部（Moderato）にはいります。簡単な伴奏に支えられ乍らソロが主要主題（Ⅳ）を提示し管絃楽が移調した主題を繰返し低音の反復音につた *cresc.* がそのままB部に継がるようにしました。B部（Allegro Marciale）では一貫して連続する歩調とソロ部分の音程とリズム（Ⅱ）が特徴です。弱音から始り楽器と音量を増し乍ら中間部では〔Ⅲ〕を三回繰返してこの部分のクライマックスを作り、其後は音量楽器を除々に減じ主要主題の再帰と共に消え去ります。AはAの正しい再帰では無く倍音列に乗ったグリッサンドの中で遠慮勝に弦のみのみで何となく展開的な部分にはいります。ここではソロと管絃楽との対話が次第にアルペジオを形作りフーガの様な部分へと導いて行きますが、このアルペジオを支える物は序奏の第二部分の後半と同じ物です。フーガに続いて序奏の第一部分を殆んど変りなく再現し第一の一区切A、B、A'を終ります。Cの部分へはffから弱まるティムパニを橋としました。この部分は常規的な三部形式で、レント、アレグレット再びレントにより構成しました。短い休止の後A'部（Allegro Energico）にはいりますが、主要主題の前に暫打楽器のみの部分があります。これはC部の終りに小太鼓が鳴らした（Ⅵ）を7/4として受継いだものです。3/4の休止に続いてソロと管絃楽が形の変つた主題の前半を同じく7/4で奏します。〔Ⅶ〕後半はA部の時と同じですが、A' B''' は夫々短縮して展開部に入る様にしました。ここでは序奏の後半の要素を経てA'部のフーガがストレッツァ風に二回再帰します。続いて7/4の物とによる物とを組合せ乍ら音量を増加させ主題の冒頭部分により展開部を終り急なPPで短いA''部に入ります。この後Vを連続させた様な形でコードが始り音量を次第に増し乍ら色々な要素を断片的に取扱い終止形は〔Ⅶ〕の形により管絃楽、打楽器、ソロを噛合せ乍ら Tutti に由つて全曲を終結させました。全曲に亘り細い細工も施して有ますが聴けば解る様な又埋れて聴え無く成つてしまつた様な夫等はこの文中から割愛しました。後に私の様な学生がこの曲を綿密に分析して見て、例えば主題の後半は前半の裏返しだとかCの Thema はその逆行と裏返しだとか〔Ⅱ〕の要素は全曲に現れるのに幾種類かの変応を伴つて居るとか云つたとしても、それは誤りでない代りにこの曲に取つて夫程、大きな意味を持つて居ません。



Musical notation for the Viola Concerto, showing measures (I) through (VII) with various tempo markings and instrument indications.

(I) etc.

(II) Andante etc.

(III) etc.

(IV) Moderato etc.

(V)

(VI) Tamburo solo

(VII) Allegro Energico Solo orch. Tamburo

第10回文部省芸術祭主催公演一覧

		演 劇	
辺 城 の 人	(芸術祭入賞脚本)	歌 舞 伎 座	11月3日初日
秋 の 園	(新 劇 合 同)	一ツ橋講堂・俳優座劇場	11月25日～12月15日
西方の人気者	国民劇場(劇団民芸)	地 方 巡 回 公 演	
文楽合同公演	(因会、三和会合同)	三越劇場・新橋演舞場	11月4日～7日

		音 楽	
交 響 楽	(芸術祭入選楽曲)	共 立 講 堂	12月15日☆

		舞 踊	
日 輪	(小牧バレエ団)	日 比 谷 公 会 堂	11月14日～16日

		古 典 芸 術	
雅 楽	(宮 内 庁 楽 部)	皇 居 内 旧 本 丸	10月8日☆
能 楽	(五 流 出 演)	水 道 橋 能 楽 堂	11月1日～9日
能 楽	(大 阪 五 流 能)	大 阪 朝 日 会 館	10月9日

郷土芸能

秋田・千葉・静岡・長野・広島・各県出演・日本青年館・11月5日☆

映 画

芸術祭賞受賞映画鑑賞会(野良犬・結核の生態・はえのいない町)	共 立 講 堂	10月14日☆
続映画の歴史を見る会(無声映画代表作の発展史上映)	共 立 講 堂	10月25日☆
日本色彩色作映画鑑賞会(地獄門・佐久間ダム)	日比谷公会堂	12月2日☆

(☆印は入場無料)

芸術祭賞授賞式についてのお知らせ

文部省におきましては本年度芸術祭公演中最も優れた成績を示めした芸術団体及び個人に芸術祭賞を授与する式典を次のように行います。なお授賞式に引き続き本年度の芸術祭賞授賞映画を上映いたします。

第十回文部省芸術祭賞授賞式

日 時 十二月二十二日(木)午後一時
場 所 日比谷公会堂

第一部

芸術祭賞授賞式

第二部

芸術祭賞授賞映画上映 夫婦善哉 (東宝)

入場無料 お申込みは往復ハガキで、返信用にも必ずあなたの住所氏名を正確にお書きの上、東京中央局区内 東京新聞社事業部へ。
十二月十七日締切、抽選で二、三〇〇名招待。